

特定非営利活動法人 日本緑化工協会 <http://www.ryokkakou.com/>

事務局 中野裕司 info@ryokkakou.com

1. 日本緑化工協会の歴史

当協会は、昭和40年4月に創立し、平成20年4月に特定非営利活動法人として衣替えし、現在に至っているもので、44年の長きにわたり活動している。

日本緑化工学会の前身である日本法面緑化研究会は昭和41年12月に発足しており、爾来相互に交流を持ち、一緒に歩んできた。協会は、技術・資材の開発支援、普及や施工改善に努め、研究会は、研究活動、情報交換を行い表裏一体として緑化工技術の発展に寄与してきた。

2. 活動内容

当協会の主たる活動は、緑化工技術の啓発・普及である。毎年実施している緑化工技術講習会は、昭和54年12月に開始され、本年で30回を迎えた。講習内容は、緑化工技術の基礎・総論、植物材料、土壌・肥料、地質・浸食・崩壊、設計・施工・検査、管理・植生遷移にいたる多岐にわたるもので、毎年、社会の要請・時代背景を踏まえた課題を抽出し実施してきた。30回の講習で、講演課題は210題、延受講者は、8,456名に至っている。

技術講習会に用いたテキストの残部は、一般に販売し講習会に出席できなかった方の便宜を図っている。頒価などの詳細は、協会ホームページをごらんいただきたい。

平成18年に、協会創立40周年記念として、技術講習会講演の主立ったもの21題を選択し、「21世紀の環境を作る緑化工技術—21選—」として出版した。頒価は3,500円であるが、今回は日本緑化工学会会員に限り無料（送料着払い）で送呈したい。E-mail・faxで、会員番号・送付先住所を記載し申し込みたい。ただし、6月末日をもって締切、あるいは在庫が無くなった時点で終了とするため、ご承知置きいただきたい。

今年度の技術講習会は、平成22年2月4日、5日の両日に実施する。講習会で聞きたい話、演者など、ご希望を事務局にお寄せいただきたい。参考とし、講演内容を定めたいものと考えている。

協会では、この他、現地研修会、技術委員会による技術情報の取まとめ・発信、パネル・方録展示などの活動を行っている。

3. 入会案内

牧草により法面を急速に緑化・被覆を図り浸食防止を行うことから始まった緑化工技術であるが、時代の要請により、修景・景観修復、生物多様性保全・自然回復へと技術開発は進んできた。法面の樹林化など自然回復に関する先駆的・実践的な技術を開発・実施し、我が国の景観・自然回復に一端を担ってきたとの自負をもっている。しかし、生物多様性国家戦略による生物多様性への配慮、外来生物法により牧草が要注意外来生物にリストアップされたため、牧草を用いることが悪い、あるいは、郷土種・在来植物を用いることが正しいことと言う風潮・思想が生じ、法面緑化技術の混乱が発生している。緑化の目的、場所柄をわきまえず、予算の裏付けもなく、何が何でも在来種・郷土種を用いようという風潮である。

このような風潮を打破するためには、牧草の使用、自然回復技術などに関する、正確な情報を伝え啓発を図ってゆく他方法は無く、技術講習会などを通じ啓発活動を行ってゆきたいものと考えている。

このような趣旨に賛同する個人・団体は、会員として参加下さるようお願いしたい。会費の必要な、正会員、準会員の他、情報交換を目的とする会費無料の交流会員としての参加も歓迎する。

会員一覧 (50音順) 団体正会員：19、準会員：12、個人会員：2

団 体	正 会 員	エコサイクル総合研究所/ 中野緑化工技術研究所	カネコ種苗(株)	刈屋建設(株)	栗田工業(株)	小岩金網(株)	(株)興林
		国土防災技術(株)	(株)彩光	三祐(株)	天龍工業(株)	紅大貿易(株)	(株)水戸グリーンサービス
		ムサシ建設(株)	雪印種苗(株)	陽光建設(株)	ライト工業(株)	ロンタイ(株)	綿半インテック(株)
	準 会 員	(株)アヤマ緑化工業	(株)井上政商店	(株)岡崎グリーン	(有)社開成舎	コアラデグリーン(株)	(有)昭栄興業
		(株)高特	田中建設(株)	チッソ旭肥料(株)	法面プロテクト(株)	(株)宝来左松島	(株)北海道三祐
個 人 会 正 員		坪井睦定, 吉田寛					
事 務 局		〒125-0042 東京都葛飾区金町 5-35-5-206 TEL/FAX : 03-5660-5580 E-mail : info@ryokkakou.com					